



撮影終了後にキャスト・スタッフ全員で記念撮影

三浦綾子原作小説「母」が映画化

塩狩峠記念館で撮影

10月5日～6日、小林多喜二の母の物語を描いた小説「母」を原作とした映画（製作 株式会社現代ぶろだくしょん）の撮影がおこなわれました。

監督を務める山田火砂子氏は、「母の目から見た反戦映画です」と話し、「若い人たちが家族の良さを感じ、少しでも世の中のことを考えてもらえたら」と期待をこめていました。



約40名のキャスト・スタッフで撮影されました



主演を務める寺島しのぶさん（写真中央）

小林多喜二の母 セキ役で主演を務める寺島しのぶさんは、「百戦錬磨のスタッフに囲まれ、素晴らしい映画になると確信しています」と話し、撮影終了後の慰労会で町から提供した地獄鍋やカボチャ団子汁などを食べ、「本当にお話しいただきました。」とお話いただきました。



お問い合わせ

株式会社
現代ぶろだくしょん
TEL：03-5332-3991
FAX：03-5332-3992
E-mail：
gendaipro@gendaipro.com

撮影ではフタバ屋菓子舗で再現した約100年前のパンが使用されたほか、町民6名がエキストラとして出演しました。
映画の公開は来年1月下旬、北海道先行ロードショーが開催される予定で、1枚1,000円の製作協力券を事前に購入すると、当日券1,800円より安く鑑賞できます。



左から塩谷瞬さん（小林多喜二役）、寺島しのぶさん（小林セキ役）、山田火砂子監督、奥山町長